

# 奈良教育大学と奈良女子大学が目指す — 法人二大学

## — 奈良カレッジズ —

### 奈良教育大学学長の加藤久雄氏

火曜午餐会・9月第1例会は1日12時15分から当部5階大会議室で開催した。講師に国立大学法人奈良教育大学学長の加藤久雄氏を招き「奈良教育大学と奈良女子大学が目指す一法人二大学—奈良カレッジズ—」をテーマに語って頂いた。加藤氏は奈良教育大学の使命について「教員養成の大学だが、教員のメソッドを持った人材は地域社会以外の所でも地域創生を担って活躍していける。これが地域に密着した大学の使命」と語った。講演要旨は次の通り。

2004年（平成16年）国は、大学ごとに自立的な運営を、と国立大学の法人化を始めた。奈良教育大学も奈良女子大学も、国立大学法人に名前が変わった。この時、全国で89の法人で89の大学があり、一法人一大学という仕組みだった。

そして、2004年から6年間を第一期として、中期計画・中期目標をたてて、文科省に提出し大臣が認めれば運営交付金が出る。

当大学には民間の方が入っておられる経営協議会がある。非公務員型で運営し、第三者によって評価をして頂く仕組みを作り、機能強化を行っている。

当大学は、奈良女子大学さんと奈良の高等教育をしっかりと考えましょうと連携同意書を交わし、その後、奈良文化財研究所と奈良国立博物館と4つが連携協定を結んだ。

#### 奈良教育大学のあるべき姿

現状は86法人86大学。国は当初大学の法人化は一法人一大学だっ

たが、一法人複数大学を考え始めた。当大学も、令和4年4月をめどに、国立大学法人奈良の設立を目指している。当大学は、法人統



合で大学改革を行うことは、非常に大きなチャンスだと捉えている。

私たちが自分たちの大学を愛する気持ちから存続を願うこと。そのためには、やはり人材育成。持続可能な地方創生人材育成として、幼・小・中・高の教員を輩出します。

2005年から2014年まで日本がメイドインジャパンで動いており、ヨハネスブルグサミットで小泉首相が提案して国連が認めたESD（持続可能な社会づくりの担い手を育む教育）がある。そしてユネスコが主導機関に指名された。

当大学は、ユネスコスクールの認定を頂いた。日本では、宮城教育大学、多摩川大学、愛知教育大学、三重大学、そして当大学の五つしかない。当大学が最初に認定され、また、附属の幼稚園、小学校、そして中学校もユネスコスクールの認定を頂いた。これは奈良だけです。

そして、2015年9月の国連サミットで採択された2016年からの15年間で達成するために掲げた目標SDGs（持続可能な開発目標）。この達成に向けて、持続可能な社会創造で地域に貢献できる人材育成。予測困難な未来社会を

けん引する人材育成を行っている。これをESDで引っ張るということです。

#### 奈良カレッジズの構築

奈良の高等教育総合化による教育研究の学問の府「奈良カレッジズ」。奈良国立博物館、奈良文化財研究所、奈良先端科学技術大学院大学、奈良工業高等専門学校との国立の機関を合わせ、奈良県下の教育研究機関との協同による総合的な奈良カレッジズを創っていこうと考えている。

機能強化に向けて、当大学と奈良女子大学がこの核になろうと、教養教育、教員養成や研修をもっと良いものにする。奈良の地で工学人材の輩出、そして組織のマネジメントを強化して経営基盤の強化をしていかなければならない。そのために、取組んでいこうとしている。

取組の具体例として、奈良に拓かれた大学を目指しているのが、市民参加型で教養教育を行う。教員養成・教員研修は現場に立つ人の研修。奈良県と奈良市の教育委員会がタッグを組む。そして組織マネジメントのガバナンスの強化として、事務組織再編や業務改善

を進め、一つに出来ることは統一化して効率化を図ること。

当大学の人材育成として考えているのが、教職大学院の修士課程。文科省は無くすよう言っているが、無くさないで決断している。一度無くせば二度と戻せない。残すためには、奈良にしか無いものしか残せない。伝統文化国際理解の選集で、書道と国際理解の分野の修士課程は残そうとしている。

奈良から、仏像、書道の灯を消せば日本の損失になる。海外からも研究に来られ、グローバルに物事を考える人材を作っていこうとしている。奈良の地に根差した伝統文化、文化遺産を、継承発展させる人材作りを、教育の立場から地域社会へ貢献する。このようなことを学べば、企業に就職してもきっと活躍出来る人材になり、これからの社会を引っ張っていく力を持てると考えている。

教員養成の大学ですが、教員のメソッドを持った人材は地域社会以外の所でも地域創生を担って活躍していけるのではないかと。これが地域に密着した大学の使命だという発想で頑張らせていただいている。